

2009.7.22-23 (水-木) 概ね晴れ (ガスあり) 三ノ峰&別山 ふたり



駐車場から登山道に



刈込池への分岐 ①

登山道入り口 ②



7/22 1114 上小池駐車場 1140 登山口  
1317-1327 六本檜 1433-1445 剣ヶ岩  
1642 三ノ峰避難小屋



山腰跡 ③



六本檜 ④

今年に入って、白山の周辺の山から白山を眺めてきた。今回漸く、三ノ峰と別山に行くことができた。特に、避難小屋に一泊ということで、シュラフ・シュラフカバー・エアマットを一新してのトライとなった。避難小屋で水が確保できるかどうか？であったので、飲み水含め、6L強の持参となった。加えて、食料についても、乾燥食材を3食分(夜・朝・予備)とパン2食分(昼・昼)準備。荷物のトータル重量は未チェックであったが、12-3Kgぐらいであったのか？



六本檜から左が三ノ峰、中央奥が避難小屋



剣ヶ岩 ⑤



左が三ノ峰、右を越えて避難小屋に



避難小屋 ⑥



三ノ峰・二ノ峰・上小池への標識 ⑥



避難小屋にあるりっぱな標識 ⑥

結構、山に来ているのだが、いつもより重い荷物は堪える。上小池から避難小屋までのコースタイムでは4時間強だが、5.5時間かかる。写真を撮りながらとはいえ、やはり遅い。花は多く、避難小屋までで、今回出会った花の9割くらいの花と出会う。避難小屋は他に登山客はなく、ふたりのみの宿泊となった。天候がいまひとつゆえ、夕陽や翌朝の朝陽の景色はあまりよくなかった。避難小屋のトイレは太陽電池でひとが行くと点灯とのことであったが、故障なのか、点灯はなく、更に悪いことにはなぜか、ベルがなりっぱなし



避難小屋の南にある福井最高峰



避難小屋東にある雪渓（水あり）



三ノ峰

452 小屋発 503-510 三ノ峰 621 P 2208  
710-730 別山 802-814 御手洗池  
924-1010 避難小屋 1121 剣ヶ岩  
1200-1207 六本檜 1258 登山口 1318 駐車場



室堂への標識 ⑦



別山神社 ⑦

という状態であった。翌日は3時に起き、5時には（別山往復ということで）ほとんど空荷で出発した。夜露が多く、下半身がずぶぬれとなりそうなので、幾分タイミングを失した感があるが、雨具を着用した。別山平からはニッコウキスゲの群落越しに御前峰や別山を見ることができ、来てよかったとつくづく思った。別山山頂からは360度の眺望であり、すばらしい景色をみることができた。南竜方面からのハイカーの姿も見えてきたので、別山から退散することにした。



別山山頂（後ろ大長山方面）

行きは逆光ゆえ、写真はもっぱら、花を撮ってきたが、帰りは太陽もすっかり上にきて、振り返りながら、別山や御前峰を何回も撮った。特に、別山平のニッコウキスゲ群落や池を前面にした景色はすばらしかった。

避難小屋に戻り、荷物のパッキングをし終え、時間もあることから、周辺の散策をした。ひとつは雪溪のところにあると言われていたクロユリと水場の探索、残念ながら、クロユリは見つけることができなかった。水場は雪溪の下にあったが、雪溪が小さいので8月のいつまでもつかは??である。もうひとつは小屋の南にある打波ノ頭（うちなみのかしら、別名：越前三ノ峰）、わかりにくい道がついている。山頂はニッコウキスゲなどのお花畑となっている。三ノ峰に比べ明らかにひとがあまりはいていない雰囲気があった。避難小屋から上小池の駐車場まではコースタイムで2.5時間だが、概ね3時間要する。荷物が軽くなっているので荷物のせいではなく、撮影タイムが相当あるということだろう。

#### 追記

今回はフレキの水筒も初めて使用した。2.5L x 2本（水とお茶）、1L x 1本（スポーツ飲料）。概ね、よかったのであるが、締め忘れで0.5Lくらいのお茶をザックのなかでこぼすことになった。PETボトルではそのような体験はないので、これも初使用のためか。お茶やスポーツ飲料は0.3LくらいのPETボトルに小分けして飲んだ。

